

<応用情報技術者試験 講評>

【午前】

テクノロジ系で出題された半分近くは、基本情報の重要キーワードを正確に理解していれば解ける、いわゆる定番問題で、計算問題が少しあるものの過去問題を練習すれば正解できる問題です。

マネジメント系のプロジェクトマネジメントでは、PMBOK、WBS、アローダイアグラムなどおなじみのテーマが、また、IT サービスマネジメントでも、定番問題が出題されました。その中のシステム監査は、基本となる用語やシステム監査人の責任などを問う問題で、マネジメント系全体では難解な問題は見受けられませんでした。

ストラテジ系では、共通フレーム 2007 に関する問題(問 64)が復活しました。営業部門で設定する KPI と KGI の組合せ(問 68)やデリバティブを説明したもの(問 70)、固定資産売却損の計算(問 75) など、少し難しい出題もありましたが、ほとんどが重要キーワードを問う問題です。

今回の試験を分析すると、下記ようになります。

分野	分類	今回 2011/6		前回 2010/10	
		出題数	全体比率	出題数	全体比率
テクノロジ系 (49 問)	基礎理論	9	11%	7	9%
	コンピュータシステム	16	20%	18	23%
	技術要素	19	24%	18	23%
	開発技術	5	6%	6	8%
マネジメント系 (11 問)	プロジェクトマネジメント	5	6%	5	6%
	IT サービスマネジメント	6	7%	6	8%
ストラテジ系 (20 問)	システム戦略	5	6%	6	8%
	経営戦略	7	9%	7	9%
	企業と法務	8	10%	7	9%
合計		80	100%	80	100%

※問題出題比率は、小数第1位を四捨五入して算出しています。四捨五入の関係で、合計が100%とならない場合があります。

午前問題全体をとおして、過去に出題されたことがある問題が半分近くありましたので、重要なキーワードを確実に理解し、計算問題にも落ち着いて取り組みれば、成果を出しやすい問題だったと感じます。時間配分の難易度、内容の難易度共に前回と比較して「普通～やや易しい」と分析します。

【参考 - 高度情報技術者試験の出題について - 】

応用情報技術者試験と同じ日に行われた高度情報技術者試験の午前 I 問題 [共通]に、応用情報技術者試験で出題された問題が 26 問出ている。午前 I 問題の出題数は 30 問ですから、大半の問題が応用情報と同じ問題となりました。応用情報技術者試験から高度情報技術者試験へのステップはそれほど遠くないことがわかります。下表の問番号は、高度午前 I [共通]のもので。

問番号	問題テーマ(要約)	問番号	問題テーマ(要約)	問番号	問題テーマ(要約)
1	相関係数	10	W3C 勧告	20	SLA
2	BNF	11	列を取り出す操作	21	データ管理者(DA)の役割
3	ハッシュ関数	13	不正な行為	25	非機能要件
4	ライトバック方式	14	ゼロデイ攻撃	26	コアコンピタンス
5	システムの稼働率	15	クラス図	27	技術進化過程を表すもの
6	OS のスケジューリング方式	16	ドライバ、スタブの機能	28	セル生産方式
7	言語処理プログラム	17	共通フレーム 2007	29	キャッシュフロー
8	NAND 素子の論理値	18	短縮できる開発工程の期間	30	偽装請負
9	アクセシビリティ	19	パレート図		

【午後】

午後の出題は次の内容でした。

- 問1 業務のアウトソーシング
- 問2 集計表を HTML に変換して出力するプログラム
- 問3 事業継続計画(BCP)
- 問4 非機能要件の定義
- 問5 リバースプロキシサーバの導入
- 問6 データベースの設計と実装
- 問7 LED を使用したデジタル時計の設計
- 問8 ゴルフ用ナビゲーションシステムのオブジェクト指向設計
- 問9 サーバへのサイバー攻撃対策
- 問10 ERP パッケージの導入検討
- 問11 システムの変更管理
- 問12 表計算ソフトの利用についてのシステム監査

[問 1 と問 2 で 1 問選択]

経営戦略(問 1)は、業務のアウトソーシングに関する問題ですが、特別な知識はほとんど不要で、問題文を読み解ければ、解答を導き出すことができる問題です。

プログラミング(問 2)は、集計表を HTML に変換して出力するプログラムに関する問題で、アルゴリズム自体は難しくありません。HTML の構造体やタグの使い方が示されていますので、それを参考にしながら解くことができます。HTML 言語になじみがあるかないかによって、問題の難易度の感じ方が異なる問題だと考えています。

[問 3 から問 12 で 5 問選択]

問 3(経営戦略)は、事業継続計画 (BCP)に関する問題で、災害が発生した際の復旧計画に関して、問題の記述から読み取って解答します。やや迷う選択肢も見受けられましたが、問題をよく読めば解答できる問題です。

問 4(システムアーキテクチャ)の非機能要件の問題は、前半は計算問題で比較的解きやすく、後半は読解力が試されるやや難問の出題です。「非機能要件」は、以前から出題が予想されていたテーマですが、新しい用語を交えて、これまでとは少し違う問われ方で出題されました。

問 5(ネットワーク)ではリバースプロキシサーバの導入、問 6(データベース)ではデータベースの設計と実装、問 7(組込みシステム開発)では LED を使用したデジタル時計の設計、問 9(情報セキュリティ)ではサーバへのサイバー攻撃対策、問 11(IT サービス管理)ではシステムの変更管理、問 12(システム監査)では、表計算ソフトの利用についてのシステム監査が問われました。

一方、問 8(情報システム開発)ではゴルフ用ナビゲーションシステムのオブジェクト指向設計、問 10(プロジェクト管理)では ERP パッケージの導入について問われました。問題文や選択肢を正しく読み解く必要があるために時間がかかり、少し時間難易度が高い問題と考えています。

応用情報の午後問題は、問題文の量が多いため、時間配分が大切になります。問 8、問 10のように読解力を求める問題もありますが、時間配分の難易度や内容の難易度ともに前回と「ほぼ同じレベル」と分析します。